22世紀に輝く
www.osaka-u.ac.jp

大阪大学のリーディングプログラムの目指すもの

未来戦略機構副機構長
理事・副学長（教育担当）
東島　清

大阪大学の大学院教育

～物事の本質を見極め世界に羽ばたく人材を育成～

文学研究科	理学研究科	工学研究科	情報科学研究科
人間科学研究科	医学系研究科	基礎工学研究科	生命機能研究科

学問体系に合わせたカリキュラム構成

アドミッション → ●●研究科 教員 研究室 講義・演習・実験 → 学位取得 → ○○研究科の学問を修めた人材

法学研究科	歯学研究科	言語文化研究科	高等司法研究科
経済学研究科	薬学研究科	国際公共政策研究科	大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学 連合小児発達学研究科

大学を取り巻く環境の変化

OSAKA UNIVERSITY
Live Locally, Grow Globally

医学×社会科学→公衆衛生学

グローバル化

大学のユニバーサル化

社会から求められる人材は 多様化 している

教育の質保証

学問の絶え間ない進歩と変容（異分野融合・細分化）

複雑要因化が進む社会の諸課題

大学が直面する新たな課題

物理学 → 宇宙物理学 / 素粒子物理学 / プラズマ物理学 など

基礎医学 → 生化学 / 微生物学

労働問題

災害対策

少子高齢化

感染症

大学のグローバル化

大学間競争の激化

大学国際ランキング

厳しい財政状況

学位プログラムと副専攻制

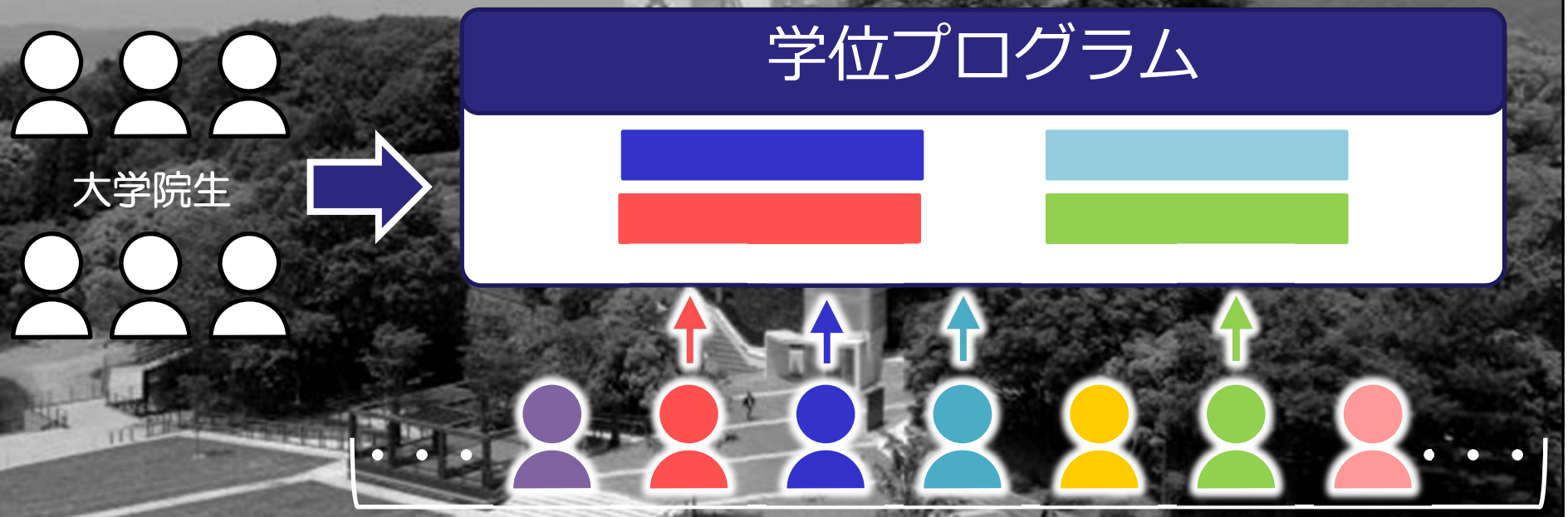
～社会から求められる人材の多様な要請等に対応する手段として～

OSAKA UNIVERSITY
Live Locally, Grow Globally

● ２００５年・中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」

『①近年の学問分野の学際化・融合化や、②幅広い知識と柔軟な思考能力を持つ人材等の、社会において求められる人材の多様な要請等に対応する手段として、主専攻・副専攻制（主専攻分野以外の分野の授業科目を体系的に履修させる組織的な取組）やジョイントディグリー（一定期間で複数の学位を取得できる履修形態）は有効な方策と考えられる。』

養成される人材像に合わせてプログラムの内容を構成



学位プログラムの目的に合わせて
多彩な専門性をもつ教員・科目が各研究科から参画

大阪大学における
副専攻プログラム・高度副プログラム
の仕組み

自分の専攻に関連する、あるいはそれ以外の分野の内容を、体系的に学ぶプログラム。
（副専攻プログラムは、主専攻に準ずるレベルであることが特徴）

副専攻プログラム
- プログラム数 5
- 修了要件単位数 14

高度副プログラム
- プログラム数 46
- 同単位数 8

副専攻プログラムや高度副プログラムの目的に合わせて
多彩な専門性をもつ教員・科目が各研究科から参画

大阪大学における
学部・研究科を越えた教育の取組

研究科間の垣根を低くし
全研究科の教員が所属を越えてプログラムに参画し
学生も所属を越えて履修することができる仕組みを構築

20年間の実績

- **1931** 大阪帝国大学創設
- **1994** 教養部を廃止 全学共通教育機構により委員会方式で実施
- **2004** 大学教育実践センター設置 全学部の協力体制を確立
- **2005～** 高度な教養教育への取組 CSCD、GLOCOL、学際融合教育センター
- **2008** 高度副プログラムを開始
- **2011** 副専攻プログラム 高度教養教育プログラム
- **2011～** 大学院教育の新展開 博士課程教育リーディングプログラム
- **2012** 全学教育推進機構 大学院横断教育部門
- **2014** 世界適塾構想 スーパーグローバル大学創成事業

H23年度から文部科学省が新たな大学院教育を開始
博士課程教育リーディングプログラム

独創性と俯瞰力を兼ね備えた
グローバルリーダーを育成

（日本学術振興会ＨＰから）

大阪大学における博士課程教育リーディングプログラムのあり方

OSAKA UNIVERSITY
Live Locally, Grow Globally

大学院生

アドミッション

主専攻

●●研究科

自身の 専門 を深める

人科　国公　歯

文　法　経済　言文

基礎工　工　情報

生命　医　薬

プログラム数　5

5年一貫制博士課程

相互作用による相乗効果

未来戦略機構におけるﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ

俯瞰力・独創性を涵養

IMSC

学位取得

大阪大学における
博士課程教育リーディングプログラムの

OSAKA UNIVERSITY
Live Locally, Grow Globally

大学院生

プログラム数
5年一貫制

オールラウンド型（H23～）
超域イノベーション博士課程プログラム

複合領域型（H23～）
生体統御ネットワーク医学教育プログラム

複合領域型（H24～）
インタラクティブ物質科学・カデットプログラム

複合領域型（H24～）
ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム

複合領域型（H24～）
未来共生イノベーター博士課程プログラム

未来戦略機構におけるﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
俯瞰力・独創性を涵養

IMSC

学位取得

プログラムを修めると
こういう人材が輩出されます。

大阪大学が育てたい「グローバル人材」とは

◎何が物事の本質であるかを見極める能力を有し、
様々な分野においてグローバル社会で活躍できるリーダー

イノベーションを生み出す創造的な専門能力を備えた人

幅広い教養を備え、総合的に的確な判断ができる人

複雑で困難な課題に挑戦し、解決するためのネットワークを形成できる人

GLOBAL UNIVERSITY
「世界適塾」

２．次世代型人材育成に向けた教育プログラムの構築

「知の統合学修体系の構築」

様々な要因が複雑に絡み合っている地球規模の社会的問題を解決するとともに、最先端の科学や技術の発展を推進し、人間性豊かな社会の創造に大きく貢献する、グローバル社会のトップリーダー、トップレベルの研究者、高度専門技術者を育成する。

Knowledge　体系的学修スタイル

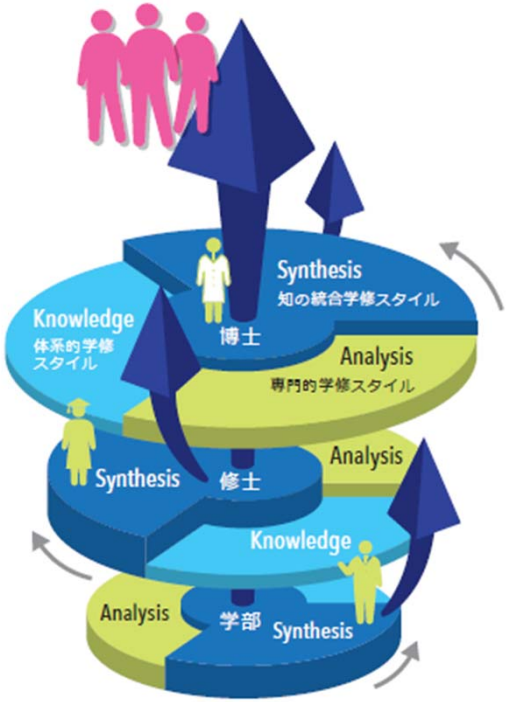
専門分野での知識を体系的に学ぶ
専門性を深める学修に加え、専門性を広げる学修も重視する

Analysis　専門的学修スタイル

体系的学修で獲得した専門性を更に深め、自分のものとするための研究・研究体験に取り組む

Synthesis　知の統合学修スタイル

体得した専門性を「社会的価値の創造」につなげるため、異なる専門分野の学修や知の統合を行うことで、新たな価値観・アイデアの創造、表現方法やコミュニケーション力の向上を図る



- リーディングプログラム・副専攻・副プログラムの提供
- マルチリンガルエキスパート養成プログラムの開始
- 「世界適塾大学院」構想の始動

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

22世紀に輝く

www.osaka-u.ac.jp